

**ゼオマイン筋注用 50 単位**  
**ゼオマイン筋注用 100 単位**  
**ゼオマイン筋注用 200 単位**

**【この薬は？】**

|                  |  |  |  |
|------------------|--|--|--|
| 販売名              | ゼオマイン筋注用<br>50 単位<br>XEOMIN 50 units<br>for Intramuscular<br>injection | ゼオマイン筋注用<br>100 単位<br>XEOMIN 100 units<br>for Intramuscular<br>injection | ゼオマイン筋注用<br>200 単位<br>XEOMIN 200 units<br>for Intramuscular<br>injection |
| 一般名              | インコボツリヌストキシン A<br>IncobotulinumtoxinA                                  |  |  |
| 含有量<br>(1 バイアル中) | 50 単位  | 100 単位   | 200 単位   |

**患者向医薬品ガイドについて**

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」  
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

**【この薬の効果は？】**

- ・この薬は、骨格筋弛緩剤と呼ばれるグループに属する注射薬です。
- ・この薬は、神経の末端で神経伝達を阻害することにより、筋肉を弛緩させます。
- ・次の病気の人に処方されます。

**上肢痙縮、下肢痙縮**

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
  - ・全身性の神経筋接合部の障害がある人（重症筋無力症、ランバート・イートン症候群などの人）、または筋萎縮性側索硬化症の人
  - ・過去にゼオマイン筋注用に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
  - ・神経筋障害のある人
  - ・妊娠する可能性のある人
  - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
  - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬〔筋弛緩剤、筋弛緩作用のある薬剤、他のボツリヌス毒素製剤〕があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- 患者さんや家族の方は、以下のことについて、十分に理解できるまで説明を受けてください。文書で同意してから治療が開始されます。
  - ・この薬は、ボツリヌス菌がつくり出すA型ボツリヌス毒素が有効成分であること。
  - ・この薬の効果は、通常 12～16 週間で消失するため、効果がなくなった場合に使用を繰り返す必要があること。
  - ・この薬の投与により、注射した部位から離れた部位に影響が出て、会話困難（会話がしにくい）、嚥下（えんげ）障害（食べ物や水が上手く飲み込めずむせる）、呼吸困難（息苦しい、息切れ）、誤嚥性（ごえんせい）肺炎（発熱、咳、痰、息切れ、息苦しい）などがあらわれることがあること。このような症状がこの薬の使用開始から 16 週までにあらわれた場合には、ただちに医師に連絡すること。
  - ・妊娠する可能性のある人は、この薬の投与中およびこの薬の最後の投与から 16 週後まで避妊すること。
  - ・他の医療施設でボツリヌス毒素での治療を受けたことがある場合には、受診日と病名を必ず医師に伝えること。

## 【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

使用量、使用回数、使用方法等は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

〔下肢痙縮の治療の場合〕

- 足を動かしやすくなったり、筋力のバランスに変化が生じたことにより、転倒しやすくなる場合があります。このような症状があらわれたら、すぐに医師に相談してください。

〔この薬を使用される全ての方に共通〕

- 無力症（起きている時間に伴い筋力が低下する、まぶたが下がる、物がだぶって見える、飲み込みにくい）、筋力低下（筋肉に力が入らない）があらわれることが

あるので、自動車の運転などの危険を伴う機械を操作する時は、十分に注意してください。

- 妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- 授乳している人は医師に相談してください。
- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

| 重大な副作用  | 主な自覚症状   |
|---|--|
| 過敏症（アナフィラキシー、血清病）<br>かびんしょう（アナフィラキシー、けっせいびょう） | 寒気、ふらつき、汗をかく、発熱、意識の低下、口唇周囲のはれ、息苦しい、かゆみ、じんま疹、発疹、全身のかゆみ、喉のかゆみ、動悸、関節の痛み |

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

| 部位  | 自覚症状               |
|-----|--------------------|
| 全身  | 寒気、ふらつき、汗をかく、発熱    |
| 頭部  | 意識の低下              |
| 口や喉 | 口唇周囲のはれ、喉のかゆみ      |
| 胸部  | 息苦しい、動悸            |
| 手・足 | 関節の痛み              |
| 皮膚  | かゆみ、じんま疹、発疹、全身のかゆみ |

## 【この薬の形は？】

| 販売名 | ゼオメイン筋注用<br>50 単位   | ゼオメイン筋注用<br>100 単位   | ゼオメイン筋注用<br>200 単位  |
|-----|---|--|---|
| 形状  |  |  |  |
| 性状  | 白色の凍結乾燥製剤で、生理食塩液に溶解したとき、無色澄明の液となる。  |  |   |

## 【この薬に含まれているのは？】

|      |                   |                    |                    |
|------|-------------------|--------------------|--------------------|
| 販売名  | ゼオマイン筋注用<br>50 単位 | ゼオマイン筋注用<br>100 単位 | ゼオマイン筋注用<br>200 単位 |
| 有効成分 | インコボツリヌストキシンA     |                    |                    |
| 添加剤  | 精製白糖、人血清アルブミン     |                    |                    |

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：帝人ファーマ株式会社

(<https://www.teijin-pharma.co.jp/>)

メディカル情報グループ

フリーダイヤル：0120-189-315

受付時間：平日（当社休業日をのぞく）

9時00分～17時00分